

# 港まちづくり協議会ニュース

JOINT COMMITTEE OF PORT TOWN NEWS LETTER

特別号 | 令和5年10月24日発行

港まちづくり協議会は、「なごやのみ(人)なとまち」の実現を目指し、○「心地よく安心な港まちで『暮らす』」  
△「魅力的でにぎやかな港まちに『集う』」□「みんなと港まちを『創る』」の3つをテーマにしたまちづくり活動を実践しています。

報告

□ 創る

## 港まちづくり協議会事業についてアンケートを実施しました

港まちづくり協議会では、7月上旬に西築地学区の皆さんを対象に無作為抽出で300世帯の方へ令和5年度に実施する事業についてお尋ねするアンケートをお送りし、80名の方から回答を頂きました。

防災に関する事業、江川線沿いのコミュニティガーデン、地蔵盆まつりなどの港まちづくり協議会が直接実施する「港まちづくり協議会事業」と、江川線沿いの街路樹等の維持管理やみなと祭の警備補助、芸術家の滞在制作(芸術家育成)など、名古屋市を通して実施する「名古屋市要望事業」を行っています。

アンケートではそれぞれの事業について、今後の方向性をお尋ねし、地域の皆さんから頂きました結果を集計しましたのでご報告します。

### 調査概要

**配布期間** 2023年7月3日(月)～7月23日(日)

**配布対象** 西築地学区300世帯に無作為でポスティング

**返信方法** アンケート用紙を配布し返信用封筒で返信

裏面の各グラフは、青色部分が推進して欲しいと考える方の割合を示しています。推進して欲しいと考える方の割合は、『防災に関する事業』が85%と最も高く、次いで『街路樹の維持管理』、『西築地小学校の環境教育施設』を推進して欲しいと考える方の割合が、81%となりました。

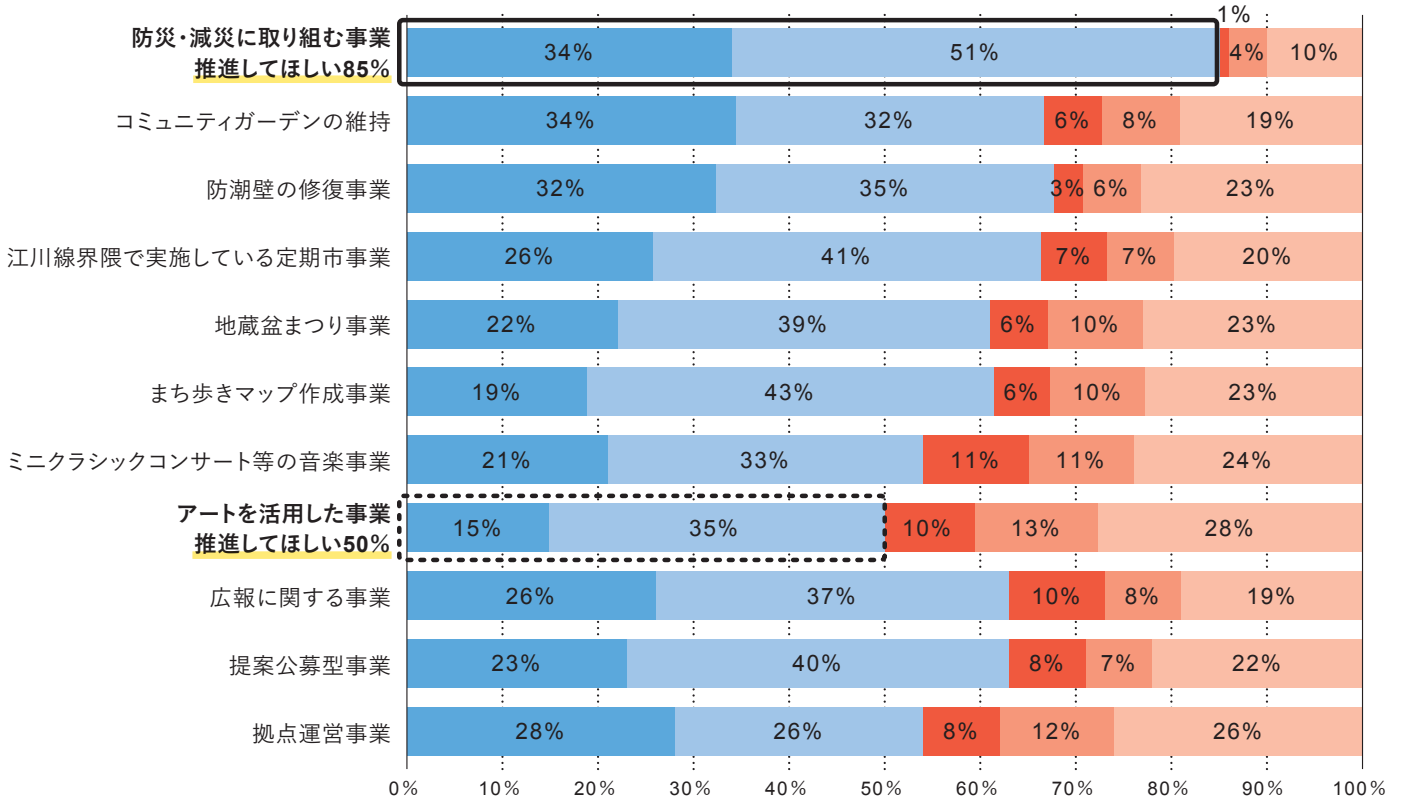
**結果概要** その他の事業は概ね6～7割の方に支持頂いていますが、推進して欲しいとの意見が50%以下となった事業は2事業となりました。

具体的には、『芸術家育成事業』を推進して欲しいと考える方は、過半数に満たない47%、『アートに関する事業』は50%にとどまりました。

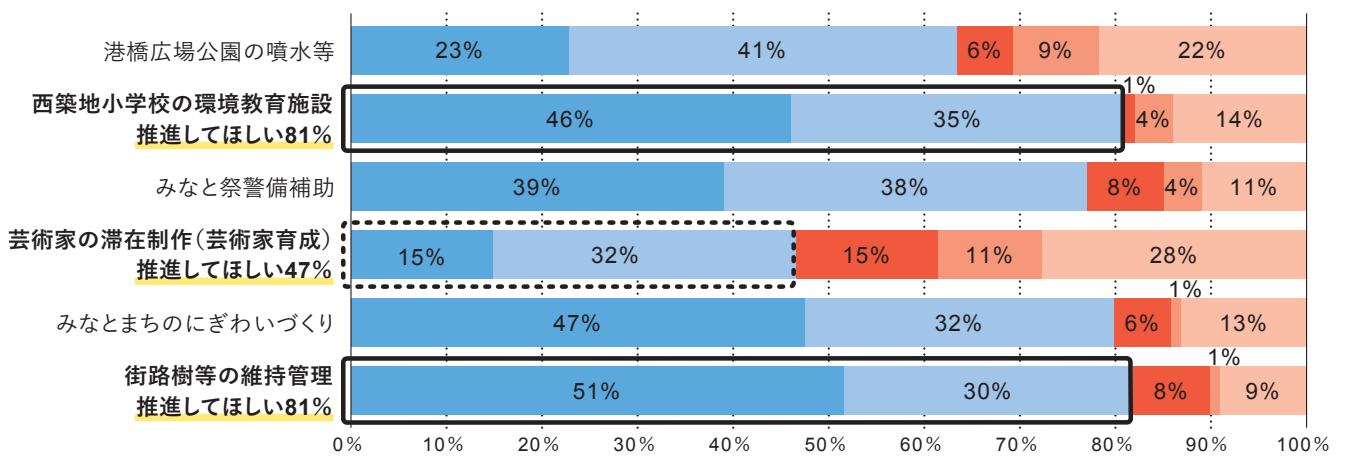
頂いたご意見を踏まえて、今後、令和6年度の事業を検討してまいります。

結果は裏面

## 港まちづくり協議会事業の今後の方向性について



## 名古屋市要望事業の今後の方向性について



■ もっと行った方がよい ■ どちらかというともっと行った方がよい ■ どちらかというともっと行った方がよい ■ どちらかというともっと行った方がよい ■ どちらかというともっと行った方がよい ■ どちらかというともっと行った方がよい

港まちづくり協議会では、ポートピア名古屋設置に伴い競艇を施行する自治体(蒲郡市など)から名古屋市に交付される「環境整備協力費」を財源とする「港まち活性化事業補助金」を用いたまちづくり事業を、住民と行政との協働により検討・実施しています。協議会の委員は、西築地学区連絡協議会・築地口商店街振興組合からの推薦をいただいた方々と名古屋市の職員で構成されています。

港まちづくり協議会の会議は誰でも傍聴できます。傍聴のルール、会議の開催日や会場など詳しくは下記の協議会事務局までお問い合わせください。また、会議資料は事務局に設置し、どなたでも閲覧できるようにしています。

お問い合わせ先

港まちづくり協議会  
JOINT COMMITTEE OF PORT TOWN

受付時間 | 平日9:00-18:00

〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23

Minatomachi POTLUCK BUILDING

TEL | 052-654-8911 E-mail | info@minnatomachi.jp

FAX | 052-654-8912 HP | http://www.minnatomachi.jp ▶

